

## 令和 8 年度の献血の推進に関する計画（案） 新旧対照表

（傍線部分は変更部分）

令和 8 年度献血推進計画（案）	令和 7 年度献血推進計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和 31 年法律第 160 号）第 10 条第 1 項の規定に基づき定める令和 8 年度の献血の推進に関する計画であり、血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針（平成 31 年厚生労働省告示第 49 号）に基づくものである。</li> </ul> <p><b>第 1 令和 8 年度に献血により確保すべき血液の目標量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 8 年度に必要と見込まれる輸血用血液製剤の量は、赤血球製剤 52 万リットル、血漿<sup>しょう</sup>製剤 26 万リットル、血小板製剤 17 万リットルであり、それぞれ必要と見込まれる量と同量が製造される見込みである。</li> <li>さらに、確保されるべき原料血漿<sup>しょう</sup>の量の目標を勘案すると、令和 8 年度には、全血採血による 134 万リットル及び成分採血による 90 万リットル（血漿<sup>しょう</sup>成分採血 60 万リットル及び血小板成分採血 30 万リットル）の計 224 万リットルの血液を献血により確保する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和 31 年法律第 160 号）第 10 条第 1 項の規定に基づき定める令和 7 年度の献血の推進に関する計画であり、血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針（平成 31 年厚生労働省告示第 49 号）に基づくものである。</li> </ul> <p><b>第 1 令和 7 年度に献血により確保すべき血液の目標量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 7 年度に必要と見込まれる輸血用血液製剤の量は、赤血球製剤 53 万リットル、血漿<sup>しょう</sup>製剤 26 万リットル、血小板製剤 17 万リットルであり、それぞれ必要と見込まれる量と同量が製造される見込みである。</li> <li>さらに、確保されるべき原料血漿<sup>しょう</sup>の量の目標を勘案すると、令和 7 年度には、全血採血による 136 万リットル及び成分採血による 88 万リットル（血漿<sup>しょう</sup>成分採血 59 万リットル及び血小板成分採血 29 万リットル）の計 224 万リットルの血液を献血により確保する必要がある。</li> </ul>

令和 8 年度献血推進計画（案）	令和 7 年度献血推進計画
<p data-bbox="152 292 1102 368"><b>第 2 献血に関する普及啓発その他の第 1 の目標量を確保するために必要な措置に関する事項</b></p> <p data-bbox="215 427 1102 547">令和 6 年度までの献血の実施状況とその評価を踏まえ、令和 8 年度の献血推進計画における具体的な措置を以下のように定める。</p> <p data-bbox="203 603 582 635"><b>2 献血推進のための施策</b></p> <p data-bbox="246 647 591 679"><b>(1) 普及啓発活動の実施</b></p> <p data-bbox="288 692 792 724"><b>ア 国民全般を対象とした普及啓発</b></p> <p data-bbox="315 737 837 769"><b>(7) 全国的なキャンペーン等の実施</b></p> <ul data-bbox="338 782 1102 1074" style="list-style-type: none"> <li>・ 国、都道府県及び採血事業者は、7 月に「愛の血液助け合い運動」を、翌年の 1 月及び 2 月に「はたちの献血」キャンペーンを実施する。また、「愛の血液助け合い運動」の主たる行事として、<u>鳥取県</u>において献血運動推進全国大会を開催し、献血運動の推進に積極的に協力して模範となる実績を示した団体又は個人を表彰する。</li> </ul> <p data-bbox="315 1129 660 1161"><b>(ウ) 複数回献血の推進</b></p> <p data-bbox="344 1174 403 1206">(略)</p> <ul data-bbox="338 1219 1102 1422" style="list-style-type: none"> <li>・ 採血事業者は、献血者から継続的な献血への協力を得られるよう、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」への登録を働きかける等により献血者へのサービスの向上を図るとともに、平素から献血者に対し、複数回献血への協力を呼びかける。特に<u>初回献</u></li> </ul>	<p data-bbox="1137 292 2087 368"><b>第 2 献血に関する普及啓発その他の第 1 の目標量を確保するために必要な措置に関する事項</b></p> <p data-bbox="1200 427 2087 547">令和 5 年度までの献血の実施状況とその評価を踏まえ、令和 7 年度の献血推進計画における具体的な措置を以下のように定める。</p> <p data-bbox="1189 603 1563 635"><b>2 献血推進のための施策</b></p> <p data-bbox="1232 647 1574 679"><b>(1) 普及啓発活動の実施</b></p> <p data-bbox="1274 692 1776 724"><b>ア 国民全般を対象とした普及啓発</b></p> <p data-bbox="1301 737 1821 769"><b>(7) 全国的なキャンペーン等の実施</b></p> <ul data-bbox="1323 782 2087 1074" style="list-style-type: none"> <li>・ 国、都道府県及び採血事業者は、7 月に「愛の血液助け合い運動」を、翌年の 1 月及び 2 月に「はたちの献血」キャンペーンを実施する。また、「愛の血液助け合い運動」の主たる行事として、<u>宮城県</u>において献血運動推進全国大会を開催し、献血運動の推進に積極的に協力して模範となる実績を示した団体又は個人を表彰する。</li> </ul> <p data-bbox="1301 1129 1644 1161"><b>(ウ) 複数回献血の推進</b></p> <p data-bbox="1330 1174 1388 1206">(略)</p> <ul data-bbox="1323 1219 2087 1422" style="list-style-type: none"> <li>・ 採血事業者は、献血者から継続的な献血への協力を得られるよう、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」への登録を働きかける等により献血者へのサービスの向上を図るとともに、平素から献血者に対し、複数回献血への協力を呼びかける。特に若年層</li> </ul>

令和 8 年度献血推進計画（案）	令和 7 年度献血推進計画
<p data-bbox="360 292 1106 456"><u>血者に対して、重点的に継続的な献血への協力を呼びかけるとともに、若年層に対しては、「イ 若年層を対象とした普及啓発」等に定める取組を通じて、複数回献血の推進を図る。</u></p> <p data-bbox="286 512 768 544"><b>イ 若年層を対象とした普及啓発</b></p> <p data-bbox="315 555 678 587"><b>(7) 普及啓発資材の作成</b></p> <ul data-bbox="331 600 1106 1027" style="list-style-type: none"> <li>・ 国は、若年層向けの普及啓発資材として、大学、短期大学、専門学校等の入学生を対象とした啓発ポスター、中学生や高校生を対象とした、献血や血液製剤について解説した資材や献血への理解を促すポスター、<u>動画</u>を作成する。なお、作成にあたっては、学校等でのパソコン、<u>タブレット</u>等による利用にも留意する。また、関係省庁間で連携しながら、都道府県、市町村及び採血事業者の協力を得て、これらの資材等の活用を通じ、献血や血液製剤に関する理解を深めるための普及啓発を行う。</li> </ul> <p data-bbox="315 1083 826 1115"><b>(イ) 学校等における献血の普及啓発</b></p> <ul data-bbox="331 1128 1106 1203" style="list-style-type: none"> <li>・ 国は、小中学生から<u>献血に対する理解を深めてもらうための取組</u>を行う。</li> </ul> <p data-bbox="248 1259 589 1291"><b>(2) 採血所の環境整備等</b></p> <p data-bbox="286 1302 663 1334"><b>イ 献血者の利便性の向上</b></p> <ul data-bbox="331 1347 1106 1422" style="list-style-type: none"> <li>・ 採血事業者は、献血者の利便性に配慮しつつ、安全で安心かつ効率的に採血を行う必要がある。こ</li> </ul>	<p data-bbox="1346 292 2092 414">に対しては、「イ 若年層を対象とした普及啓発」等に定める取組を通じて、複数回献血の推進を図る。</p> <p data-bbox="1249 512 1731 544"><b>イ 若年層を対象とした普及啓発</b></p> <p data-bbox="1279 555 1641 587"><b>(7) 普及啓発資材の作成</b></p> <ul data-bbox="1294 600 2092 1027" style="list-style-type: none"> <li>・ 国は、若年層向けの普及啓発資材として、大学、短期大学、専門学校等の入学生を対象とした啓発ポスター、中学生や高校生を対象とした、献血や血液製剤について解説した資材や献血への理解を促すポスターを作成する。なお、作成にあたっては、学校等でのパソコン、<u>タブレット</u>等による利用にも留意する。また、関係省庁間で連携しながら、都道府県、市町村及び採血事業者の協力を得て、これらの資材等の活用を通じ、献血や血液製剤に関する理解を深めるための普及啓発を行う。</li> </ul> <p data-bbox="1294 1083 1805 1115"><b>(イ) 学校等における献血の普及啓発</b></p> <ul data-bbox="1310 1128 2092 1203" style="list-style-type: none"> <li>・ 国は、小中学校段階での<u>献血推進活動等の献血への理解を深めてもらうための取組</u>を行う。</li> </ul> <p data-bbox="1227 1259 1568 1291"><b>(2) 採血所の環境整備等</b></p> <p data-bbox="1265 1302 1641 1334"><b>イ 献血者の利便性の向上</b></p> <ul data-bbox="1310 1347 2092 1422" style="list-style-type: none"> <li>・ 採血事業者は、献血者の利便性に配慮しつつ、安全で安心かつ効率的に採血を行う必要がある。こ</li> </ul>

令和 8 年度献血推進計画（案）	令和 7 年度献血推進計画
<p>のため、ライフスタイルの多様化に対応するための取組として、立地条件等を考慮した採血所の設置、地域の実情に応じた献血受入時間帯の設定及び移動採血車による計画的採血、企業や団体等の意向を踏まえた集団献血の実施、子育て世代に対応した託児スペースの整備、<u>献血 Web 会員サービス「ラブラッド」</u>等の I C Tを活用した W E B 予約の推進等に積極的に取り組む。</p> <p><b>第 3 その他献血の推進に関する重要事項</b></p> <p>1 献血の推進に際し、考慮すべき事項</p> <p><b>(3) 採血基準の在り方の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国は、献血者の健康保護を第一に考慮しつつ、献血の推進、<u>血液の有効利用及び血液製剤の安全性</u>の観点から、採血基準の見直しを検討する。</li> </ul> <p><b>4 献血推進施策の進捗状況等に関する確認と評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国、都道府県及び市町村は、献血推進のための施策の短期的及び長期的な効果並びに進捗状況並びに採血事業者による献血の受入れの実績を確認し、その評価を令和 9 年度の献血推進計画等の作成に当たり参考とする。また、必要に応じ、献血推進のための施策を見直すことが必要である。</li> </ul>	<p>のため、ライフスタイルの多様化に対応するための取組として、立地条件等を考慮した採血所の設置、地域の実情に応じた献血受入時間帯の設定及び移動採血車による計画的採血、企業や団体等の意向を踏まえた集団献血の実施、子育て世代に対応した託児スペースの整備、I C Tを活用した W E B 予約の推進等に積極的に取り組む。</p> <p><b>第 3 その他献血の推進に関する重要事項</b></p> <p>1 献血の推進に際し、考慮すべき事項</p> <p><b>(3) 採血基準の在り方の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国は、献血者の健康保護を第一に考慮しつつ、献血の推進及び血液の有効利用の観点から、採血基準の見直しを検討する。</li> </ul> <p><b>4 献血推進施策の進捗状況等に関する確認と評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国、都道府県及び市町村は、献血推進のための施策の短期的及び長期的な効果並びに進捗状況並びに採血事業者による献血の受入れの実績を確認し、その評価を令和 8 年度の献血推進計画等の作成に当たり参考とする。また、必要に応じ、献血推進のための施策を見直すことが必要である。</li> </ul>